## 別紙2

## 平成28年度実施施策に係る政策評価書

(環境省28-40)

施策名	目標9-1 環境基本計画の効果的実施 各主体における環境配慮の織り込みの推進や環境白書等を活用した普及啓発等を行うなど、環境基本 計画の効果的な実施により、環境保全に関する施策の効果的な実施を図る。					
施策の概要						
達成すべき目標	環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進					
施策の予算額・執行額等	区分		26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の 状況 (百万 円)	当初予算(a)	86	88	103	104
		補正予算(b)	-	_	-	
		繰越し等(c)	-	Ī	(※記入は任意)	
		合計(a+b+c)	86	88	(※記入は任意)	
	執行額(百万円)		73	77	(※記入は任意)	
施策に関係する内閣の重 要政策(施政方針演説等 のうち主なもの)				-		

測定指標	第四次環境基本計画の点 第四次環境基本計画の点	基準値	実績値					目標値	達成
	検における重点分野等の 累積点検数(累積)	一年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	28年度	
		-	-	6	14	20	28	28	0
	年度ごとの目標値		-	6	14	20	28		
			施策の進捗状況(実績)				目標	達成	
	環境白書、こども白書、英 語版白書:年1回発行		環境白書、英語版白書を発行した。					28年度	
							年1回発 行	Δ	
	見積りの方針の調整を			施策の	D進捗状況(実績)			目標	達成
	行った結果を資料に取り まとめ、国会等へ説明す る。		  見積りの方針の調整を行った結果を資料に取り				終に取り	28年度	
				会等へ訪		-MAC 9.	1410427	国会等 へ説明	0

評価結果	目標達成度合いの 測定結果	(各行政機関共通区分)	相当程度進展あり
		(判断根拠)	<ul> <li>・平成28年度において、目標である「第四次環境基本計画の点検における重点分野等の点検数(累積)28件」を達成。</li> <li>・平成28年度において、環境白書、英語版白書を発行。</li> <li>・平成28年度において、見積りの方針の調整を行った結果を資料へ取りまとめ、国会等へ説明。</li> </ul>
	心泉の力物	点検を実施し、目標を達成 ・平成28年版環境白書を作 書については、一部の学校 せて毎年度データを更新し 行わず、平成27年度に作り	点検は、平成25年度から平成28年度まで実施するものであり、毎年度、適切な はすることができた。 作成し、国会へ報告するとともに、同白書の英語版を作成した。一方、こども白 交の環境学習の場で活用されてはいるが、年次報告である環境白書に連動さ して作成する必要性は低いと判断されたことから、平成28年度は新規の作成は 或したこども白書の頒布を継続した。 の方針の調整を行った結果を資料に取りまとめ、国会等へ説明した。
	次期目標等への 反映の方向性	実施を図る。 【測定指標】 毎年度、進捗状況の点検 環境基本計画の策定に係 また、環境白書の作成及で する必要がある。なお、この	施は、必要不可欠であるので、引き続き、環境保全に関する施策の効果的なが確実に実施されたことがわかる指標であり、妥当である。次期目標は第五次るものであるため、単年度の目標となる。 が環境保全経費の見積り方針の調整は法定事項であり、今後も引き続き実施 ども白書については、今後は年1回の発行ではなく、改定の必要性を踏まえて ら、測定指標からは外すこととする。

## 学識経験を有する者の知 見の活用

平成28年度は、中央環境審議会において、「経済・社会のグリーン化とグリーン・イノベーションの推進」、「国際情勢に的確に対応した戦略的取組の推進」、「持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり、基盤整備の推進」、「地球温暖化に関する取組」、「生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する取組」、「物質循環の確保と循環型社会の構築のための取組」、「包括的な化学物質対策の確立と推進のための取組」、「放射性物質による環境汚染からの回復等」の8分野の点検を行った。

政策評価を行う過程にお	第四次環境基本計画の進捗状況・今後の課題について(平成28年11月中央環境審議会)
いて使用した資料その他	
の情報	

	担当部局名	大臣官房 環境計画課	作成責任者名 (※記入は任意)	秦 康之	政策評価実施時期	平成29年8月	
--	-------	---------------	--------------------	------	----------	---------	--